

目 次

令和5年度事業報告

教育事業

- 教育事業一覧
- サイエンスキャンプ in 室戸 ～陸・海・空から眺める！大地の最前線！～
- 「地域探究プログラム」オリエンテーション合宿 in 室戸
- 室戸ボランティアリーダー活動報告

研修支援

- 活動プログラム指導状況一覧

その他

- 世界ジオパーク認定審査

管理運営報告

広報活動

利用実績

令和5年度教育事業実施状況

(むろと黒潮・体験の風をおこそう運動実行委員会主催事業を含む)

国立室戸青少年自然の家

月	日	事業名	募集人数	応募人数	参加人数	備考
5	5~6	ファミリーキャンプ①	12家族	361	43	111家族361名の応募
	20~21	ボランティア養成講座	20	51	51	
7	22~23	サイエンスキャンプ	20	62	20	室戸ジオパーク推進協議会 室戸市防災対策課
8	10~11	ファミリーキャンプ②	12家族	110	39	39家族110人の応募
	20~24	【体験活動普及啓発】サマースクールキャンプ	20	17	8	へんろ道(8/21) ポラ自主企画(8/23)
	26~27	体験!発見!ジオパーク	25	22	19	
9	2~3	むろと元気塾① ※高知県内児童養護施設			21	室戸ドルフィンセンター
	8~9	Mキャンプ「水族館に泊まろう!」	20	65	17	むろと廃校水族館 ※8月から延期(台風接近のため)
	30~1	防災キャンプ	20	30	16	室戸ジオパーク推進協議会 室戸市防災対策課
10	21~22	くろしおまつり			165	室戸ジオパーク推進協議会・室戸警察署・室戸市消防本部・キラメッセ室戸水族館・室戸ドルフィンセンター・むろと廃校水族館・元保育所・室戸中学校吹奏楽部・室戸ボランティアリーダー
	24	タッチプールカー(元保育所・むろと保育園)			136	
	28~29	生き物ウォッチング2023in室戸ユネスコ世界ジオパーク	20	27	15	室戸ジオパーク推進協議会
11	11~12	イングリッシュキャンプ	25	62	25	
	25~26	むろと元気塾② ※高知県内児童養護施設			11	室戸ドルフィンセンター
12	9~10	ボランティア自主企画事業「みんなでつくろう!とっておきキャンプ」	25	58	25	室戸ボランティアリーダー
	25~27	「地域探究プログラム」オリエンテーション合宿in室戸	30	9	6	むろと廃校水族館・椎名大敷組合・高岡大敷株式会社
1	6~7	【体験活動普及啓発】Mキャンプ「水族館に泊まろう」	30	157	30	むろと廃校水族館・椎名大敷組合
	12	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊(元保育所)			43	
	24	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊(羽根昭和保育所)			26	
	26	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊(認定こども園なはり)			40	
2	13	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊(佐喜浜保育所)			20	
	24~25	【体験活動普及啓発】Mキャンプ「目指せ!炎のチャレンジャー」	20	74	24	
	28	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊(吉良川保育所・公民館)			40	
通年		【実践研究事業】幼児の運動プログラム				令和3年度から6年度の継続事業 高知大学と連携

○ボランティアリーダー関連

4	29~30	リーダートレーニング			58	
6	17~18	リーダートレーニング			13	
7	8~9	リーダートレーニング			22	
8	23	自主企画 ※サマースクールキャンプ活動内に設定			6	
10	28~29	リーダートレーニング			14	
11	18~19	リーダートレーニング			10	
12	9~10	ボランティア自主企画事業「みんなでつくろう!とっておきキャンプ」			19	参加リーダーの総数
2	29~3/1	リーダートレーニング			6	
3	13~14	4回生を送る会(ポラ卒業式)			42	

サイエンスキャンプ in 室戸

～陸・海・空から眺める！大地の最前線！～



1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

世界的に価値のある室戸の壮大な地形・地質、自然を総合的・体験的に学び、人々の生活と自然との関わりに気づき、郷土への親しみをもつ。

○ 実施期間

令和5年7月22日（土）～23日（日） 1泊2日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

小学4～6年生 20名／20名

○ 活動プログラム

	1日目		2日目
9:30	高知方面送迎バス出発 (はりまや橋観光BT)	6:00	起床
		7:15	朝のつどい・朝食
12:00	室戸世界ジオパークセンター到着	8:30	室戸の地質について学ぼう③ 「海成段丘を見よう」 (自然の家ロッジ展望スロープ)
12:15	開講式、昼食		
13:00	室戸の地質について学ぼう① 「ジオパークって何だろう？」	9:30	☆海から見上げる室戸岬☆ 「ミニクルージング体験」
13:30	室戸世界ジオパークセンター見学		
15:00	☆陸で感じる室戸岬☆ 「室戸岬フォトビンゴ」	11:00	☆空から見下ろす室戸岬☆ 「スカイライン山頂展望台」
16:30	室戸岬出発 (自然の家に移動)	12:15	室戸世界ジオパークセンター到着 昼食 (室戸産の食材を使ったお弁当)
		13:00	ジオ学習のまとめ
17:00	入所オリエンテーション 夕べのつどい・夕食	13:15	退所式
		13:30	送迎バス
19:00	室戸の地質について学ぼう② 「地層キャンドル作り」		室戸世界ジオパークセンター出発
20:00	入浴	16:00	高知方面送迎バス到着 (はりまや橋観光BT)
21:00	振り返り・就寝準備		
22:00	消灯・就寝		

2. 活動の様子

< 1日目 >

開講式後、室戸世界ジオパークセンターにて、室戸ジオパーク推進協議会地質専門員の柿崎喜宏氏よりジオパークの概要について話を聞き、ジオパークは、大地や周囲の生態系、人々の営みを全て含む「大地の公園」であることを学んだ。さらに、室戸ジオパークは、日本で10か所しかないユネスコ世界ジオパークに認定されていることも知り、参加者は驚いていた。講話の後は、館内見学を行い、3D体感眼鏡を使って南海トラフの海溝を見たり、展示物を見たりしながら、室戸の大地の成り立ち、生物、人々の生活などについて学習した。

次に、室戸岬の大きさを近くで感じるために、実際に陸（海岸沿い）を歩きながら「岬探勝フォトビンゴ」を行った。普段見ることのない大きな岩（タービダイト層やビシャゴ岩）や、アコウの木などの大きさに感動しながら活動していた。活動後には、柿崎氏に解説をいただき、タービダイト層の形成、アコウの木の生態などについて知ることができた。

夜には、地層キャンドル作りを行った。砂や石が層になっていく様子をイメージしながら作成した。参加者は夢中になって、それぞれのイメージに合わせた地層キャンドルを作成していた。その後、タービダイト層のでき方について付加体の模型を使って説明したり、プレートの模型を使って地震の発生の仕方を学習したりし、次の日に学習する海成段丘の成り立ちにつながるような実験を見て一日目を終えた。



< 2日目 >

二日目は最初の活動として、標高280mに位置する国立室戸青少年自然の家にあるロッジの展望スロープから海成段丘（西山台地）を見た。波の影響で大地が削られること、プレートの動きに関すること、海成段丘をよく見ると、1段目、2段目、3段目があることなど、柿崎氏の解説のもと、海成段丘について実際に見ながら学ぶことができた。また、宿泊した国立室戸青少年自然の家も海成段丘の3段目に位置しているということで、昨日就寝した場所が海成段丘の上であることを知った参加者たちは、とても驚いていた。

次に海から岬を見上げる活動「ミニクルージング」を行った。出航後参加者は、船のスピードに驚いたり、波の様子に興味津々だったり、とても楽しそうであった。沖の方に行くと、徐々に室戸岬が見え、柿崎氏の解説のもと、陸で感じたこととはまた違った視点から室戸の大地について知ることができた。岬から港へ帰る途中には、次の活動場所である山の上の「室戸スカイライン展望台」のあたりを見上げることができた。海上から「次はあの山の上に行くよ」と伝え、参加者は「ええっ」と驚いていた。

空から室戸岬を眺めるために、「室戸スカイライン展望台」に登り、室戸岬の東側と西側の大地の違いについて、予想しながら見学した。東側は斜面が急であるが、沿岸部の海が深く海洋深層水が溜まる地形となるため漁業が盛んに、西側は海成段丘ができる地形のため、大地の上での農作物の生産が盛んになることを学んだ。大地のつくりと、人々の生活のつながりを感じることができた。

最後には、室戸世界ジオパークセンターへと戻り、注文していた室戸まるごと弁当の材料について店主より紹介してもらった。室戸産むろアジのフライ、トコブシの炊き込みご飯、奈半利産のナスやさつまいもなど、地元の産物をたくさん使ったお弁当をいただき、室戸の地形によって、恵まれた自然について体感することができた。最後に2日間のキャンプを感想にまとめ、本事業を終えた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・ 地層キャンドル作りが楽しかった。
- ・ ミニクルージングで室戸岬や海成段丘を見ることができてよかった。予想以上に揺れていることも分かったし、トビウオがはねている姿も見られてよかった。
- ・ 岬の東と西で、地形が違っていることに気付いた。気候を生かして生活に生かしていることが分かった。海成段丘の山の上が平たいことも分かった。
- ・ 地形の特徴やどうやって海成段丘ができたのかが分かった。また、長い時間をかけて、水が岩を削ることを知って驚いた。

- ・ 室戸が、日本で10か所しかないユネスコ世界ジオパークに認定されていてすごいと思った。数少ない貴重な場所だと思った。

○ 事業の成果

- ・ 活動終了後に行った参加者（20名）へのアンケートによると、「全体を通しての満足度」は、満足が18人、やや満足が1人、やや良くなかったが1人であり、満足度は95%となった。ややよくなかったを選択した参加者に関しても、感想では、いろいろなことを学べてすごくいい体験になったということに記載していた。
- ・ 昨年度のサイエンスキャンプの反省より、学習中心のキャンプから楽しみながら学習するキャンプへと変更した。岬フォトビンゴやミニクルージング等を通して、まずは室戸岬の壮大さを楽しみながら感じてもらえるようにした。コロナの影響もあったが、応募者も昨年度より増え、参加者の感想からも楽しかったという意見が多かった。
- ・ 活動プログラムとして開発している「室戸岬フォトビンゴ」は参加者にとっては、意欲的に取り組める活動であった。マップと写真を紹介することで、今すぐに探したいという意欲が感じられた。また活動中も、一生懸命探そうとする姿が多く見られた。

○ 事業の課題

- ・ 活動内容（活動した中身についてはどうでしたか）のアンケート結果（計20名）は、「よかった」が18名、「ややよかった」が2名であり、「楽しかった」「室戸のことをたくさん学べた」という意見があった。楽しいキャンプがベースにありつつも、今回のテーマである室戸の大地について学ぶことができている良かった。
- ・ 全体的に活動が多く、室戸の大地を感じられる充実したキャンプとなっていたが、参加者がゆっくりと活動、休憩する時間が少なかったように感じる。活動の充実と、参加者の負担とのバランスを考慮したい。また、船酔いもあったので、活動の順番、クルージング後の活動内容等の検討も必要である。
- ・ 新プログラム「室戸岬フォトビンゴ」開発について
 - ① 時間設定について
熱中症対策も含め、活動時間を短く設定したことで、十分に回り切れずに終わる班が多かった。設定時間を検討していきたい。
 - ② マップについて
難易度を上げるためにマップを分かりにくくしているが、混乱を招き、参加者が多くの場所で迷っていた。似たような場所もたくさんあるので、もう少し分かりやすいマップにした方が、参加者の意欲と達成感が持続すると感じた。
 - ③ 研修支援としての活用
今回は20名という参加者の規模、また各班に大学生のボランティアリーダーが付くという構成であったため、安全面は十分に確保されていた。今後研修支援に落とし込むときには、安全面をどのように確保していくのか検討していきたい。

令和5年度全国高校生体験活動顕彰制度

「地域探究プログラム」オリエンテーション合宿 in 室戸



1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

宿泊を伴うオリエンテーション合宿（個人参加型）を通して、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを養う。

○ 実施期間

令和5年12月25日（月）～27日（水） 2泊3日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

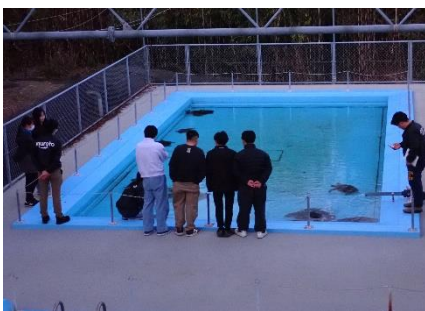
高校生 6名／30名

2. 活動の様子

<1日目>

個人参加型で高知県内すべての高校に募集するとともに、今回の連携機関である「むろと廃校水族館」のSNSで紹介してもらった結果、高知県内にとどまらず、島根県や三重県、北海道や東京都からの応募があり、男子4名、女子2名、計6名での開催となった。

開会式、ガイダンスの後、講義・演習「地域理解」において、むろと廃校水族館の施設案内とプログラムであるサメの歯を利用した名刺「さめいし」づくり、それをういた名刺交換を行った。社会人のビジネスの基礎を体験するとともに、全国各地から集まった高校生にとって有効なアイスブレイクとなった。その後、水族館職員指導の下、魚類の観察の基礎となる種同定・点描を行った。また、夕食においては、地元の食材（野菜・魚）を使用した弁当を準備していただき、地域社会との連携、経済的なつながりについて示唆していただいた。



施設案内（見学）



水族館プログラム「さめいし」づくり



魚類の種同定・点描

<2日目>

フィールドワーク「地域の魅力を発見」において、地元の椎名大敷組合のご協力のもと、乗船させていただき、漁の様子を見学した。その後、組合長である橋本健氏より大敷網や室戸の海の特徴と変化について説明していただいた。また、水族館職員による、「耳石摘出」、若月元樹館長より、「廃校を活用した地域活性化」と題してご教示いただいた。夕方からは、講義・演習「海の生物を学ぼう」において「サメの解剖」を行い、水族館職員から説明・解説をうけた。夕食においては、地元漁港の高岡大敷株式会社社長である田中正勝氏より、地元でとれた魚を使った料理の指導を受け、参加者と一緒に調理を行った。会食時に漁業や室

戸のことについて高校生たちと談話していただき、興味深く会話していたことが印象的であった。その後、意見交換（発表①）として、自分たちの気づきや課題、2日間の感想をお互い発表しあった。



フィールドワーク 大敷網見学



フィールドワーク「耳石抽出」



講義・演習「海の生物を学ぼう」

<3日目>

サメの解剖

講義・演習「大敷網見学（乗船）・魚の選別」では魚の選別を至近距離で見学させていただいた。鮮度を保つため、できるだけ素早い行動の重要性を教わった。その後、ウミガメの身体測定とピットタグ装着を行い、ウミガメの生態調査を目的とする放流に立ち会った。その間に飼育員体験としてプール掃除やウミガメの甲羅磨きを行い、当施設が導入予定のプール掃除ロボットについて、三相電機株式会社の製品の試運転を見学した。昼食には、今朝とれた魚を調理した弁当を食し、閉会となった。



フィールドワーク 魚の選別



フィールドワーク 飼育員体験



講義・演習 ウミガメの放流

3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・たくさんの貴重な体験ができて楽しかったです。
- ・普段できない貴重な体験ができてよかった。

○ 事業の成果

- ・水産業に特化したフィールドワークと講義・演習を行ったため、参加希望者はなかなか集まらなかったが、内容に興味ある生徒が集まったため、活動自体は大変意欲的であり充実した活動となった。
- ・地場産業である漁業の関係者や地域食材をいかした食事を提供していただくことで、地域活性化について学びが深まった。

○ 事業の課題

- ・本来は、参加者の課題や疑問に応じたフィールドワークを行うべきであると思うが、それぞれが独自の活動を行うのは現実的ではないかと思う。自分で考え・行動することもこの事業の趣旨であると思われるが、オリエンテーション合宿では一つのテーマに絞るほうが参加者の理解を得やすいと感じるとともに、自然の家において、当該事業の目的に沿った高校生への指導の困難さを感じた。
- ・個人参加型になると、参加者の居住地との関係で OR 合宿後の実践活動の支援が困難であると感じる。だからこそ、OR 合宿で高校生にとって「学びある」「気づきある」事業にしていく必要があると思う。

室戸ボランティアリーダー活動報告

1. 在籍数（登録者）

4回生 17名	男子 7名	女子 11名
3回生 13名	男子 3名	女子 10名
2回生 33名	男子 6名	女子 27名
1回生 37名	男子 11名	女子 26名
社会人 4名	男子 2名	女子 2名

2. 活動一覧

事業名	参加リーダー数
海洋活動船「くろしお」復活プロジェクトミニクルージング再開記念事業	1名
サイエンスキャンプ in 室戸	6名
ファミリーキャンプ	4名
サマースクールキャンプ	6名
体験!発見!ジオパーク(マリンスポーツ編)	7名
(研修支援)土佐中学校対応	2名
Mキャンプ「水族館に泊まろう」	2名
防災キャンプ in 室戸	4名
くろしお祭り	24名
イングリッシュキャンプ	5名
みんなでつくろう!とっておきキャンプ(ボランティア自主企画)	19名
Mキャンプ「水族館に泊まろう」	2名
Mキャンプ「目指せ!炎のチャレンジャー〜割って、燃やして、調理しよう!」	7名
4月リーダートレーニング「室戸新歓」	25名(他31名)
6月リーダートレーニング	13名
7月リーダートレーニング	22名
10月リーダートレーニング	14名
11月リーダートレーニング	10名
2月リーダートレーニング	6名
3月リーダートレーニング「四送会」	42名
C.W.ニコル追悼記念杯 土佐室戸鯨舟競漕	14名(他4名)
同窓キャンプリターンズ	15名(他29名)
ボランティアミックスキャンプ	2名

3. 表彰

法人ボランティア表彰 6名 (高知大学4名、高知県立大学2名)

大分類	小分類	実施回数	利用者数	指導回数	指導を受けた人数	指導者数			
						研修指導員	職員	ボランティア	合計
登山・ハイキング・散策	所内散策	51	729	0	0	0	0	0	0
	合計	51	729	0	0	0	0	0	0
水辺の活動	スノーケリング	6	168	6	168	0	18	0	18
	シーカヤック	39	1,273	39	1,273	0	98	0	98
	ミニクルージング	1	30	1	30	0	1	0	1
	磯観察	23	875	23	875	0	47	0	47
	SUP	6	175	6	175	0	15	0	15
	合計	75	2,521	75	2,521	0	179	0	179
炊飯・生産活動	野外炊事（カレー）	85	3,185	76	2,937	0	93	0	93
	合計	85	3,185	76	2,937	0	93	0	93
創作・制作活動	竹笛	1	21	1	21	0	1	0	1
	七宝焼き	7	192	7	192	0	9	0	9
	焼き板工作	4	66	4	66	0	5	0	5
	流木クラフト	33	1,318	33	1,318	0	42	0	42
	竹箸	1	21	1	21	0	1	0	1
	合計	46	1,618	46	1,618	0	58	0	58
ゲーム・レクリエーション活動	コミュニケーションゲーム	5	336	3	104	0	3	0	3
	キャンプファイ	28	1,643	0	0	0	0	0	0
	スリアリエンテリング	14	808	13	807	0	17	0	17
	冒険の森遊び	22	411	0	0	0	0	0	0
	おもしろ自転車	53	724	0	0	0	0	0	0
	キャンプファイ	9	305	0	0	0	0	0	0
	ナイトハイク	26	783	8	220	0	8	0	8
	室内フォトビンゴ	8	287	8	287	0	8	0	8
	ロープワーク	5	123	5	123	0	6	0	6
	基地づくり遊び	4	66	4	66	0	5	0	5
	アートフォトビンゴ	7	252	7	252	0	7	0	7
	フィールドフォトビンゴ Long version	10	598	10	598	0	10	0	10
	フィールドフォトビンゴ Short version	8	537	8	537	0	11	0	11
	合計	199	6,873	66	2,994	0	75	0	75
歴史・文化、音楽・芸術活動	鯨館見学	2	29	0	0	0	0	0	0
	合計	2	29	0	0	0	0	0	0
自然観察活動・環境教育活動	室戸岬探勝	19	642	8	310	0	11	0	11
	シロケツクン見学	18	471	0	0	0	0	0	0
	イルカの観察	8	208	0	0	0	0	0	0
	廃校水族館見学	28	789	0	0	0	0	0	0
	合計	73	2,110	8	310	0	11	0	11
総合計		531	17,065	271	10,380	0	416	0	416

世界ユネスコジオパーク審査に関して



☆日程・場所 令和5年(2023)7月15日(土)

16:00 到着予定 ※20分遅れ

16:00~17:15 説明・質疑応答 予定は20分程度でした

17:15~ 展望棟屋上 → ロッジ展望スロープ見学(説明)

※17:30~18:00 予定していた審査員の打ち合わせはカット

18:20 過ぎに終了

☆事前準備など 説明動画の作成(添削) ※英語に翻訳があるため、早めの準備
説明動画(雨天時用) 室戸市まちづくり推進課 遠枝さん制作

☆データ保存場所 室戸共通 → ★室戸岬探勝・室戸ジオパーク
→ R5世界ジオパーク審査

☆使用したもの 付加体実験装置 ※保管場所 プレイルーム階段下
プレゼン資料・シナリオ ※データ保存場所
流木クラフトお土産セット 日本語+英語
展望棟ならびにロッジからの説明図
※ジオパークセンターが作成したもの ※英語

☆審査中に請求された資料について

- 自然の家とジオパークの連携がわかるもの ①R4主催事業一覧
- ②活動プログラム指導状況

引継ぎとして

- ・パワーポイント作成に関して ①アニメーションのさらなる工夫
- ②自然の家とジオパークの連携が分かる資料を挿入しておく

※できれば数値を!年間通して、どれくらい連携しているかを資料としてほしいそうです。



管理運営報告

1. 職員の主な研修・講習等

- 「新任職員研修」 令和5年4月3日
(新規採用職員、人事交流職員及びその他の職員対象/5名参加)
 - ・ 所の概況、実施事業及び利用者受入業務の内容説明等

- 「海活動時における避難方法に係る研修」 令和5年4月14日 (5名参加)
 - ・ 避難経路及び避難場所の現地確認、避難誘導の方法について説明

- 「救急救命・AED講習会」 令和5年5月11日 (20名参加)
 - ・ 室戸市消防署職員による講義及び実践練習

- 「熱中症予防研修」 令和5年5月24日 (16名参加)
 - ・ 株式会社大塚製薬工場社員による講義

- 「避難・消火訓練」
 - 第1回 令和5年9月26日 (17名参加)
 - 第2回 令和6年2月21日 (15名参加)
 - ・ 室戸市消防署職員の立ち合いのもと、利用団体が宿泊時の火災発生を想定した避難訓練
消火器を使っての初期消火の現地訓練

2. 令和5年度国立室戸青少年自然の家運営協議会

日 時 令和6年3月1日(金) 14時から
場 所 国立室戸青少年自然の家
開催方法 対面出席及びオンライン出席によるハイブリッド形式

4. 施設整備(主なもの)

○落雷による被害復旧

令和5年8月25日、9月11日の未明に相次いで当施設周辺で落雷が発生した。周辺地域では停電等が発生し、当施設でも火災報知設備や電話交換機、放送設備、エアコン等に不具合が発生したが、速やかに復旧することができた。

○建具の修繕

研修棟から体育館に通じる階段へ出る箇所の建具(ドア)が経年劣化により故障し、力を入れないと完全に閉まらない状況であり、このたび修繕を行った。

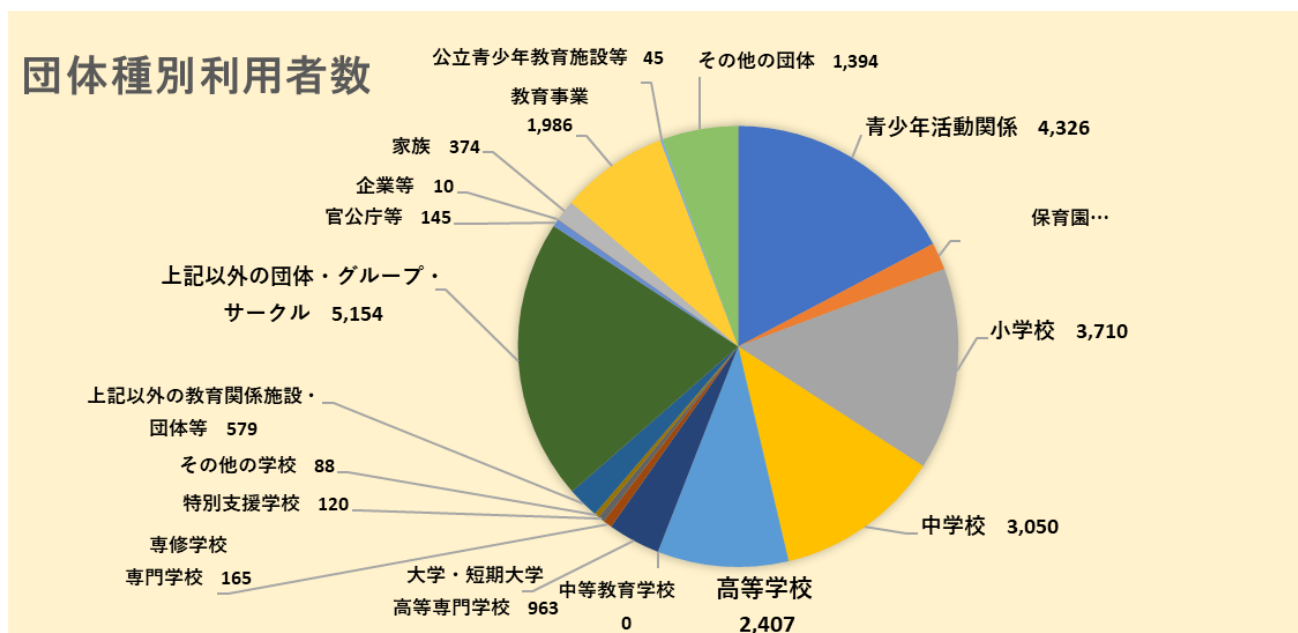
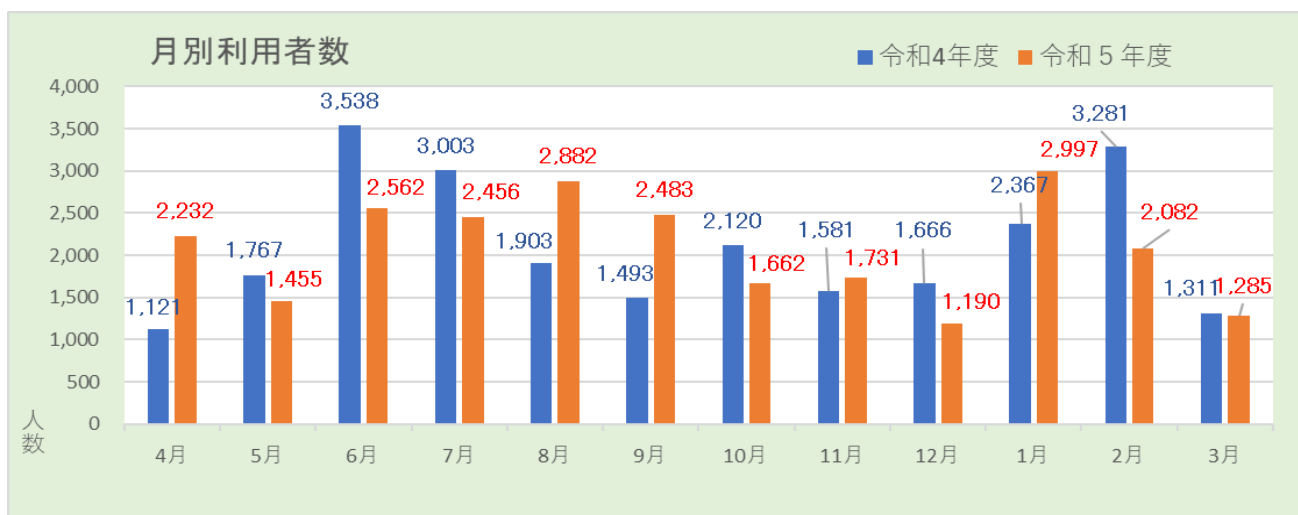
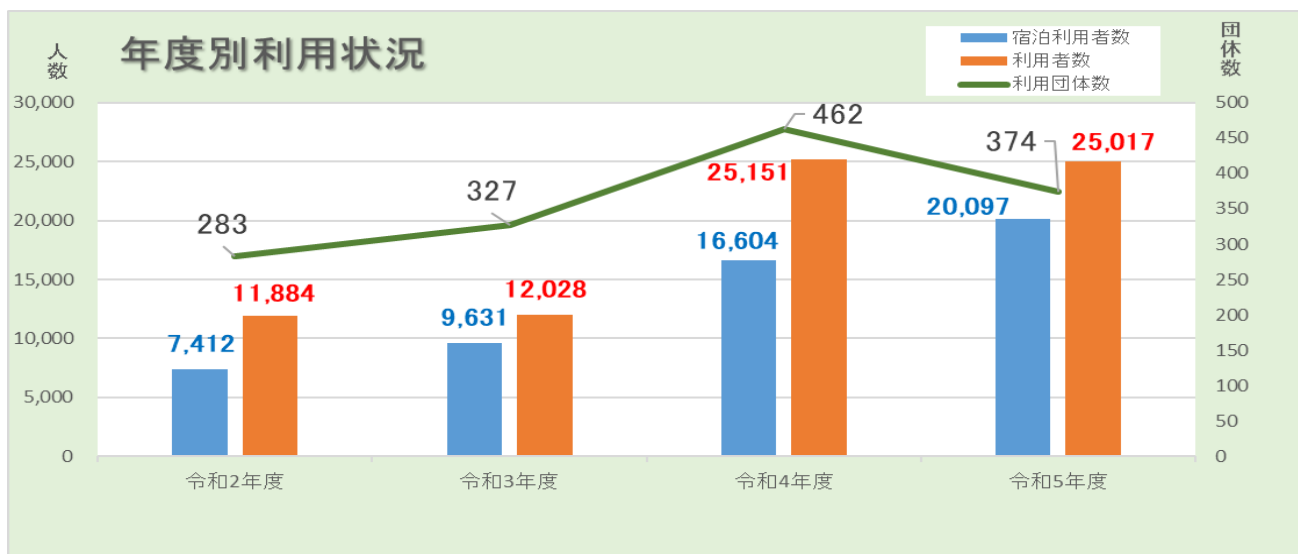
○正面広場の外灯修繕

令和5年11月18日早朝の強風により、支柱が折れた正面広場の外灯の修繕工事を行った。

○講師室浴室の給湯器取替

経年により不具合が発生した、センター棟2階講師室の浴室給湯器の取替えを行った。

利用実績



広報活動

広報活動としてイベントブースを出展したり、出張指導を行ったりして施設のPRを行った。

日付	内容	場所	人数
6月21日(水)	幼児期の運動プログラム	田野町立幼保連携型認定こども園田野っ子	49人
7月5日(水)	幼児期の運動プログラム	田野町立幼保連携型認定こども園田野っ子	60人
8月3日(木)	幼児期の運動プログラム	田野町立幼保連携型認定こども園田野っ子	49人
9月16日(土)	ふるさと室戸まつり2023	海の駅「とろむ」	256人
10月18日(水)	幼児期の運動プログラム	田野町立幼保連携型認定こども園田野っ子	49人
10月19日(木)	幼児期の運動プログラム	安田町立幼保連携型認定こども園安田さくら園	49人
11月22日(日)	くろしお祭り!	国立室戸青少年自然の家	163人
10月24日(火)	むろと・元保育園 海遊教室	むろと保育園 元保育所	136人
11月3日(金)	高知大学物部キャンパス一日公開	高知大学物部キャンパス	246人
11月8日(水)	幼児期の運動プログラム	田野町立幼保連携型認定こども園田野っ子	49人
11月12日(日)	甫喜ヶ峰フェスティバル2023	甫喜ヶ峰森林公園	57人
11月12日(日)	淡路くろしおフェスティバル	淡路青少年交流の家	131人
11月24日(金)	幼児期の運動プログラム	安田町立幼保連携型認定こども園安田さくら園	38人
12月21日(木)	幼児期の運動プログラム	安田町立幼保連携型認定こども園安田さくら園	45人
1月11日(木)	幼児期の運動プログラム	田野町立幼保連携型認定こども園田野っ子	60人
1月12日(金)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	元保育所	43人
1月24日(水)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	羽根昭和保育所	26人
1月25日(木)	幼児期の運動プログラム	安田町立幼保連携型認定こども園安田さくら園	42人
1月26日(金)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	幼保連携型認定こども園なはり	68人
2月13日(火)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	佐喜浜保育所	27人
2月14日(水)	幼児期の運動プログラム	田野町立幼保連携型認定こども園田野っ子	49人
2月15日(木)	幼児期の運動プログラム	安田町立幼保連携型認定こども園安田さくら園	38人

2月28日(水)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	吉良川第一保育所・吉良川公民館	66人
3月6日(水)	幼児期の運動プログラム	田野町立幼保連携型認定こども園田野っ子	49人
計24回			計1,845人



淡路くろしおフェスティバル



ふるさと室戸まつり 2023



「早寝早起き朝ごはん」
むろとキャラバン隊